

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(玄海3・4号機 乾式燃料貯蔵施設)」

2. 日時：令和2年12月9日(水) 14時00分～16時25分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室(※一部TV会議システムによる出席)

4. 出席者：(※1…TV会議システムによる出席)

原子力規制庁

(新基準適合性審査チーム)

藤森安全管理調査官、塚部管理官補佐、御器谷管理官補佐、櫻井安全審査官

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料計画グループ長 他17名※1

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※2音声認識ソフトにより自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発信者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

- ・資料1-1 玄海原子力発電所 使用済燃料乾式貯蔵施設の設置【設置許可基準規制への適合性について】
- ・資料1-2 玄海原子力発電所 使用済燃料乾式貯蔵施設の設置【審査会合における指摘事項の回答】
- ・DRY-1-7 玄海原子力発電所 設置許可基準規則への適合性について(使用済燃料乾式貯蔵施設)
- ・玄海原子力発電所 使用済燃料乾式貯蔵施設 29条に関するコメント回答について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。規制庁のミキヤです。これからヒアリングを始めたいと思いますので、資料の確認からお願いいたします。
0:00:11	はい。九州電力のアブラムシ見込みによりますます資料のご確認をさせていただきます。まず／の資料が2種類ございます。右肩1-1、これ基準期限でのPO性能名資料がございます。
0:00:27	あと右肩1の2これが指摘事項の会議ってということで合意した資料からです。
0:00:34	あと補足説明資料でTRI排風1-だろろをご用意しております。
0:00:42	主に今日はですね資料1-2と補足説明資料、常にこちらを使いましてコメント回答をさせていただきたいと思います。
0:00:54	あとコメント回答ですが、最初に4条のコメント回答の説明させていただくことを16条、29条、そして最後にVI委員長ということでご説明をさせていただきたいと思っております。
0:01:12	冒頭の方からご説明いたします。
0:01:22	はいどうぞ。
0:01:26	九州電力の平原でございます。それでは四条のコメント回答を説明をさせていただきます。まず資料でございますけれども資料1-2E-1ページをご覧いただきまして、No.としては1110-1、パレットで搬送中に地震が発生した場合の波及的影響について説明することと。
0:01:46	いうご指摘をいただいております。誤開といたしましてはその次のページでございます。右上の2ページに、
0:01:55	内まずけれども、こちらで回答を整理させていただきました。あわせまして補足説明資料側もご覧いただきながら、ご説明させていただこうと思っておりますけれども、補足説明資料側でございますが、右下105ページのところをまずご覧ください。
0:02:18	右下105ページでございますけれども、こちらは4条の波及的影響に関する補足説明資料でございますが、こちらの搬送台車の項目でございますが、まず搬送台車につきましては、
0:02:34	キャスクを取り扱いエリアから貯蔵エリアに搬送するためのものございましてキャスクは、貯蔵場に乘せた状態という状態で発送されます。地震が起きた場合でございますけれども、搬送中に地震が起きると可能性として、搬送台車が一扫すると、
0:02:52	もともと想定している大津留通路から外れてしまうということが想定されますが、その場合であっても、Aとされている乾式キャスクのちょっと話題Eと搬送中の貯蔵架台が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:09	衝突したとしても十分に距離があるというところを確認してございまして、波及的影響はないという整理としてございます。
0:03:19	では具体的にどういった検討をして十分に距離があるというご説明を差し上げているかと申しますと、補足説明資料側からまずいきますが、右下の
0:03:32	ページ 127 ページ、参考 3 として資料をつけさせていただいてございます。こちらと先ほどの資料 1-2 の 2 ページをご覧くださいまして、
0:03:44	まとめております資料 1-2 側からご説明させていただきますが、回答といたしましては同じ部に距離を確保してございましてはその中において、もう可能に寄りつくことはないため地震による接触は想定してございませぬ。の評価といたしましては、
0:04:02	岩相中東町の中の乾式キャスクの貯蔵架台もしこちらの右下の絵のオレンジ色のところでございますけれども、これがぶつかった場合というのを想定いたしまして、この衝突による転倒、①としてございまして、この角度を見てござい
0:04:19	ます。また角度として、転倒しないとしても、キャスク同士が接触するということも考えられますのできり等による衝突というのは確認してございまして、この二つの項目の確認をしてございまして、①番につきましてはこの
0:04:38	地震じゃこの角度になりますため、クライテリアは十分満足できると。
0:04:43	これを確認してございまして、固めるようにしましては地震時 405mm に対してクライテリアとして 500、こちらはキャンプキャスク同士を直立させた状態で貯蔵架台を接触させて直立させた状態で、
0:04:58	の架空こちらxとしてございましてけれどもこの距離でございまして 500mm になります。この距離に対して傾きは 400 ですので、接触しないということが確認してございまして、
0:05:12	補足説明資料は戻っていただきましてミキサー 127 ページ側、こちら、今ご説明させていただきました内容の詳細表書いているものでございまして、FARO こちら中身につきましてはですね 16 条側でも同じ EF
0:05:31	方法を使って評価をしてございましてので割愛をさせていただきたいと思
0:05:38	います。言葉としては以上になります。
0:05:47	はい。一つずつ区切っていきますかね。
0:05:56	バックしていくのは明らかでございまして。一つずつお願いいたします。
0:06:14	規制庁のミキヤですけれども 4 条の関係で全体のパッケージとしてあと何がありますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:23	九州電力の平原でございます。四条でいただいているコメントとしてはこちらで以上でございます。
0:06:30	ですので4条関係は以上でおしまい。ほかに何か別な説明はない。
0:06:39	駅市内の平原でございます。こちらで、以上になります。
0:06:52	安心関係の
0:06:57	SFの平原でございます。
0:07:11	地盤では、
0:07:14	検討が
0:07:22	地表面ですね。
0:07:24	ね、これで四つの昨夜の新しい線
0:07:37	を考えたら、お願いします。
0:07:41	瀬山大臣。
0:07:56	九州電力の平原でございます少々お待ちください。
0:08:25	九州電力の平原でございます。今回共同ヒアリングにですねエントリーしているものがいわゆる機器側のものでございましてこのコメント回答の対応できるものをだけを今日そろえておりまして、FARO建屋のその地下水位に関わるところが説明できるものをちょっと
0:08:45	ずつおりませんものでして、
0:08:48	ちょっと持ち帰り検討させていただきたいと思うんですけれども、ご質問のご趣旨としては、地下水をどのように取り扱ってその評価をする都合をする想定かとそういうご趣旨ですかね。
0:09:06	とか、
0:09:19	狐崎の平原でございます。すいません、音声がですねちょっと途切れ途切れでございまして、もう少しマイクに近づいてお話いただいたりできますか、ですね 監査部長は使うとかですね、解析を使うとか、
0:09:36	それから当初の建設当時のあたりを使うとかっていうんですけれども、どんなような話があるんですが、どんなような考え方が一つですねというふうになって、水の設計をどうするかとやって行くということです。
0:09:54	以上の平原でございます。水の設定をどういう考え方で算定をするかというのが一致したことを考え方と、
0:10:05	90年から始まりますかしこまりました。
0:10:08	引き続き引き続きというか関係者に再度確認をしてから回答させていただきたいと思います。はい。
0:10:15	それでよろしいですか。それから次の話であと2関係について二つお尋ねしたいんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:24	決してない限りはございません。お願いいたしますのは、そういった徹底した 続いて関係して、液状化で建屋の液状化についてはどんなふうにご考えておら れるか、例えば岩着してましたら、地盤の話になりましたら岩着してなんだとし ないかと思うんですか。
0:10:42	直下については、例えばしないと考えているとかですね、あとは周辺について は名ほど知ってるんで、地下水についての関係に
0:10:51	にくくなってる場合においてはですね、液状化の可能性もあるんじゃないかと 思っております、その辺、
0:10:58	どのようにお考えかということですね、液状化についてどう考えるか。
0:11:07	よろしいの平原でございますけど、一応この考え方循環は合併岩着であれば 販売のEとバーの周辺に関しては、名戻しているので進入して参ります。そう いったような考え方の御説明入室はい。
0:11:22	かしこまりました。
0:11:24	はい。
0:11:26	よろしい。
0:11:28	はい。供試体海脚でございます。それぞれのそれに、その横はそれで配慮さ せていただきます。はい、前はですね。
0:11:38	要は圧力についてなんですが、
0:11:43	要は圧力については、
0:11:45	どんなようなことを考えてるかということですね。
0:11:54	これは家庭の耐震性に絡む話ですけれども、
0:11:58	九州電力のヒアリングでもその漁業読み強まる圧力農場呼んじやないですよ、 ようアンケート調査現に機械系から多分ずっと上がってはおりません。
0:12:12	水圧揚力ですね売上高使つによる養殖
0:12:20	はい。
0:12:21	正確じゃありません。かしこまりました。上げる圧力の進め方でございます。要 は電力については、発電の耐震の一つの外力になりますので、
0:12:32	それはどうやったら答えとしてだから、地下水、さっきの1番目の地下水どうに かに関係するんですが、基礎版のよくある基礎版の下に限定するとかです ね、また時メタクラやっていますが地表面に設定を保守的にやるとかですね。
0:12:49	あと、
0:12:50	排水設備っていうものを使って、強制的に上げるってやることも方向として一 つあるんですよ。
0:13:00	どのようなことを考えておられるか。
0:13:06	よろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:09	規制緩和山でございます。承知いたしました。範囲
0:13:25	はPC竹ヶ原でございます。三つ承知いたしました。
0:13:29	規制庁、
0:13:31	さっきのコメント回答に戻りますけれども、
0:13:35	やっぱりまず注目の波及的影響なんですけれども、
0:13:44	その周辺施設から影響がないってところ。
0:13:49	についても明示的に説明して欲しいんですけど。
0:13:56	基本動作の天井クレーンとか低圧負荷のほかに何か周りに何か周辺施設があつてその影響がないとか、
0:14:05	キャスクだけの話をしているので、
0:14:09	周辺施設がその移動、移動経路とか
0:14:14	どういう
0:14:15	形で移動するから、その周辺施設、
0:14:19	影響ないっていうのは、天井クレーンなんかはMSでも存在しないから、
0:14:23	影響ないとか、その辺のその周辺施設全体のその波及的影響についてきちんと説明を
0:14:34	するようにお願いします。
0:14:42	九州電力の平原でございます。一応確認をさせていただきたいんですけども、破棄的影響に関しましては、もともと補足説明資料を用意させていただいてございまして、
0:14:53	例えば補足説明資料の中のページ 103 ページから等々でございますけれども、こういった説明では不十分ということでございましょうか。
0:15:40	規制庁フジモリですけど。
0:15:43	もうですがこれでいいのか、ちょっと待ってください。
0:15:50	九州電力八木でございます。今補足させていただきますと、103 ページから始まる内容につきましては戦後参考にさせていただきまして、大体洞道の論じ方をさせていただいていると考え、
0:16:05	やっています。一方会合でいただいたやっぱりとにつきましては、やはり対するオサートっていうのが効いてきますので、そういう観点でいただいたコメントだと思つてまして、それに対しては、今回、補足をさせていただいたという位置付けかなと考えてございます。以上でございます。
0:16:41	規制庁フジモリですけど、だから
0:16:44	補足的にはこれでいいのかもしいんですけど、
0:16:47	回答として波及的影響といった場合にそのキャスクの話だけしていつて、
0:16:54	いるので、このパワポの回答に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:58	他の施設からの影響はないっちゆうことを進めてもらえればいいのかもしいですね。
0:17:07	なんか若干その指摘がやっぱり搬送中の波及的影響。
0:17:13	と言っていると
0:17:16	いろんな他の周辺施設からの影響はどうなのっていう話に
0:17:22	ちょっと考えてしまったので、その辺がわかる回答の中で触れてもらえばいいだけかもしれないですね。
0:17:30	九州電力の平原でございます。ちょっと私の理解活動なんですけれども、この今急騰していただいているものがマイヤーパレットで搬送している機器単位の間というふうにとらえると、
0:17:45	他にも例えばクレーンであれば、貯蔵エリア側には寄りつくないようにしてるんでこれは影響しませんとか搬送している期間の間すべていを見た上で、波及的影響、
0:18:00	回りませんという趣旨で回答をまとめているという理解でよろしいでしょうか。
0:18:06	はい。規制庁フジモリです。
0:18:08	所則は基本そうなるんだと思うんですけど、この高い遠田等もそこまでちょっと
0:18:16	わからないので、ちょっとそこを補足してもらったほうがいいかなっていう売買おっしゃられた通り、
0:18:21	ですね。
0:18:26	九州電力の平原でございます。かしこまりました。今回特にとつとくらしすべきはやはり搬送台車だと思いますので、前段としてですねクレーンであったり、他の周辺施設等々は把握できる鹿児島線というのを述べた上で、
0:18:44	この今回ご説明させていただき、いただいた内容に没水動かないとは考えてございます。搬送中の話でいいんですけど、また最後のなお書きでその搬送中の他の周辺施設から波及的影響も
0:19:02	ないっというのを最後に説明してもらえばいいかと思うんですけどね、前段というよりは、
0:19:12	亜急性期の東シナ海申し訳ございません搬送中の間の発揮できるようながないというところを説明させていただいた上で、
0:19:21	作り上げてございますので今フジモリ様おっしゃったように10となお書きということにさせていただいて、搬送中においてその経路途中でクレーンは落下しない、また周辺の建屋通ら整数等により機能が維持できていることから、
0:19:38	特段必要はないというような文書を付け足すようなイメージで修正させていただこうと考えてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:44	はい、お願いします。
0:19:50	あと成果ツカベですけど1点だけ、資料1-2の方の確認なんですけど、今回その括弧ガーダー方式ではあるものの、軌道も前にトラン24にも固定して移動するという理解で。
0:20:08	よろしいですか。
0:20:15	九州電力の平原でございます。これら方式では今回ございませんでして、日本で固定するということは、おっしゃる通りでございます。
0:20:27	第3の課題の方は、もともとのカップホルダーと同一設計でベントラインをつけるという。
0:20:34	ことではなくても、PRA日本ですという御説明ということでしょうか。
0:20:43	九州電力の平原でございます。し、
0:20:46	カップホルダーではなくて、トレーニングのみという構造でございます。
0:20:54	すいません。ちょっと先行の場合はCAQホルダー方式で最終的には低角で、
0:21:02	止めますよという、
0:21:04	ご説明だったんですが、
0:21:06	今の説明の仕方だけなのかもしれませんけれども、日本で固定しますと、
0:21:13	いう理解。
0:21:15	しましたけど、間違いないう。
0:21:20	はい、よろしいですね、I九州電力災さういう参考四国電力さんにつきましては、ちょっとカップホルダープラス日本語訳で地壘状ちょっと内容を想定して設定値られておりましたが、当社といたしましては日ライターに対して人となりも多くする力は公式を採用しております。
0:21:40	ぜひそのための選考どんどん少し届かないと形状は変わっております。いろいろです。
0:21:48	水道ツカベです。
0:21:51	あと、この評価において、その補足説明資料130メーター130ページを見ると、
0:21:58	推定は、
0:22:00	1m. 0×
0:22:03	I. 0m/sので、
0:22:07	されてると思うんですけど、この数字はどこから来た数字になるのでしょうか。
0:22:15	九州電力の平原でございますけどそちらの数値に関しましてはですね、ページ131、同じく補足説明資料のページ131ページをご覧いただきまして、これがキーを真ん中上辺りにございますが、保守的な評価と今回してございますが、
0:22:35	設工認側、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:40	一般の方で使う予定でございますが、建屋応答解析における基礎上面、キャスクを置く位置ですねの最大速度をに対して、さらに透水量方向については搬送台車の観測ですね、動かしてるときの速度化した上で1. 二倍。
0:22:56	下辺りというのでin. 0 メーター/sというのを算定してございます。以上です。
0:23:04	規制庁ツカベです。わかりました。
0:23:11	すいません規制庁のミキヤですけども、ごめんなさい、今の。
0:23:15	先行のプラントとの違いがちょっとよくわからなかったんですけど、パレットの
0:23:22	上に置いてあるのが開いたカップホルダーかが違うということですか。
0:23:29	虎日本固定は一緒。
0:23:34	そこは九州電力の松永Sn先行さんとの違いにつきましてはちょっと遠田ラインについてなんですけれども、こちらの補足説明資料の128ページをご覧ください。こちらの方にですね、そこが台設置の盤尻別ということで記載がありますが、
0:23:51	こちらの通りその直上につきましては、この飛来に際して清掃時から日本ラックセルチェックをしておりますが、マツ炉外っていう書かれているところがですね、当社が違いさ、先行のやり方でチェックにつきましては、
0:24:07	ボイラーになっておまして、違いとしては、本当動かないのか来なかったこの形状の違いです。広げる。
0:24:30	すいませんちょっと基本的には規制庁のミキヤですけどもパレットはどの状態で行かせるかというこの貯蔵架台までこっちにした形でやっぱりピットで上がってあげるんですけど。
0:24:45	できればですね、合意書通りこの貯蔵架台に立つよう設定した後に、変動範囲こちらを課題に対して、搬送台車をこちらで迎えに行った。いろいろ仕事をどこにせよ、空気用のパレット置いて動かせるという仕組みになっております。それ1、
0:25:12	すいません。
0:25:15	わかりました。すいません。はい、わかりました。
0:25:37	ないですかね。
0:25:41	すいません規制庁のミキヤです。ちょっと波及的影響の話になったりちょっと一つ確認したいんですけども、今回やっぱりとの話もキャスクに対して波及的影響もキャスクに対して見ているかと思うんですけど、これ長大に対して貯蔵中の貯蔵架台に対しての波及的影響って見なくてもいいんですかって。
0:26:16	SCですよ、聞きたいけど平原でございます。少々お待ちください。
0:26:21	ですから、
0:26:22	そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:23	いいですか。
0:26:24	直接何かぶつかるみたいなそういうちょっと、
0:26:30	これは、
0:26:31	すごくに思って、
0:26:36	は確かに直接的にキャスクを見ておくってのはわかるんですけど。
0:26:44	ちょっと金額としてはまだ首尾整理ちゃうんですけど。
0:26:51	九州電力の平原でございますFARO。
0:26:54	江藤長蔵が第1に関しましてはキャッシュ系の直接支持構造物でございますので、
0:27:05	キャスクと、
0:27:07	人隔離というか前それ今この秋できる所で見ているものを方としてはキャスクとプラス貯蔵架台Eを含めて見ているという認識でございます。
0:27:19	規制庁のミキヤです。やっぱりそういう理解なんですかねちょっとそこがですね僕もちょっと資料見てて機能よくわかんなくて、
0:27:28	来直接的にまずキャスク見ますというのはわかるんですけどもその中に貯蔵架台も含めて見ていると、そういうことなんですかね。
0:27:39	それであればもっと商品力が開かれます。その際相互理解で問題ないかと思えますので、とりあえずわかりました。ちょっと申請書上なかなか読みづらいなと思ったんですけど、わかりました。とりあえず、
0:27:55	以上でよろしいですか。
0:27:59	はい。4条関係以上になりますんでちょっとここで一旦中断してもよろしいですか。先ほどの通り、
0:28:07	後ろでございます。以上でございます。
0:28:18	すみません。
0:28:30	再生をするんですした。
0:28:35	規制庁のミキヤです。ヒアリングのほうを再開します。次は
0:28:45	補足説明資料に対するコメントですね、こちらのコメント回答をお願いします。
0:28:58	ちょっと九州電力の小田です。それでは29条の補足説明資料に対するコメントを回答させていただきます。
0:29:06	まず一つ目ですが、本日の資料を補足説明資料、
0:29:14	757ページお願いいたします。
0:29:18	こちらの4行目、まずコメントですが、こちらの4行目の文章の4行目に貯蔵エリアにおける線量評価では、乾式キャスクの配置を考慮し40基の乾式キャスクを考慮すると記載をしております、補足説明資料の別の条件の表で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:35	統合遮へい効果未考慮と記載をしております。これにつきまして空気で構成された円筒形状の線源を40ヶ所に設置した経緯に変わっている。
0:29:44	ご質問でございますがこれについてはその通りでございます、線の直接点評価では総合遮へいを無視するために不足する円筒形状のチェック線源としてモデル化をしております。
0:29:56	続きまして、758 ページの下の図が注水時の
0:30:04	同等高度dと評価をしているモデルになりますが、これに関連をしまして、
0:30:10	中性線量評価でのレジャーニードル見解金利率と、前回角度分点数とスカイシャイン計算でのプロジェクト回避の方法。
0:30:22	を説明することということで、値段取る変化実は□角度分点数はSの
0:30:29	□、□分点。
0:30:32	を使用しておりますので、Ofとの対比については、初回、
0:30:37	調達宣言法を用いております。
0:30:40	続きまして、106 が 766 ページの
0:30:47	交通量とコードの概要ですが、こちら構造の概要のところ、F動とコードの後継コードであるという記載があったんですけど、これちらっと間違いにしてドットコードの後継構造であるという間違いですね。
0:31:02	Notコードという記載に修正をちょっとさせていただきます。
0:31:08	続きまして、
0:31:10	760、
0:31:12	9 ページ。
0:31:14	お願いします。
0:31:16	こちらのページのは中性子の自己管理線量の換算係数についてRODジオメトリを実効線量として、
0:31:27	計算してそちらを採用しております、
0:31:31	湖面層につきましては放射線審議会の基本部会、
0:31:35	外部被ばく及び内部被ばくの評価法に係る技術的指針では、事業者が当該施設での放射線業務従事者及び公衆の入射条件の値が正確に判断する計画にハーグすることが困難であると考えられることから、安全側の評価値となるAP操作条件での実効線量の換算係数を採用することが適切である。
0:31:56	述べられているが、中性子実効線量関係性にあるOTジオメトリを採用した理由は何かというご質問でございます。
0:32:04	回答といたしましては、ROPジオメトリは単一線源の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:08	交差点版の中でランダムに動く人のジオメトリ近似としても適用可能とされておりまして、敷地境界の一般公衆において1年間線源の方向漸移抜き続けることは現実的に考えられないため、設定は、
0:32:24	ROPが妥当ということであるT設定値とります。
0:32:29	なお、放射線審議会の指針ではなお書きで事業者が当該施設の利用状況を加味した適切な入社条件を設定することが可能な場合にあって、この条件、或いはこれらの条件の組み合わせを採用することができるとされておりまして。
0:32:44	また、従前まではキッツ協会のγ線量については空気カーマで評価をしております。
0:32:51	今回色調境界の線量実効線量に見直す際、既設建屋の許容線量区画から実効線量への換算係数を
0:33:01	評価値の連続性、数値が変わらないということと審査ガイドに従いまして1シーベルト/Gy
0:33:10	をしております。この1シーベルト/切れは事故時の被ばく評価にも適用されている換算係数と同じでございます、ROTジオメトリを包絡しているものとなっております。
0:33:21	従って今回評価でも出しつつ、他の施設の火山との整合性を考慮しまして、γ線の実効線量は1ベルトパワーグリッド。
0:33:29	kA中性子の換算係数はROPとISOのうち保守的であるROTジオメトリをさせていただきます。
0:33:38	続きまして、
0:33:40	補足説明資料の775ページをお願いいたします。
0:33:46	こちらストリーミングのPARの影響について、
0:33:53	相当もう遮へいと比べてあまり影響がありませんというのを説明している資料で、この表の赤の地層とかの減衰、
0:34:02	を記載している結果についてですが、こちら二、三号炉、
0:34:07	MCNPの解析の結果ではなくて、やはりそのコードの結果を
0:34:11	記載をしているものでございまして、そこで補足説明資料の768ページ。
0:34:19	こちら保守ベクトル浅部チャレンジ設計に使用しているベクトルの保守性、
0:34:25	についてご説明をしている資料ですが、こちらの768ページの
0:34:31	コンクリート中での実効線量の減衰率、
0:34:35	それについて記載をしているものでございます。
0:34:39	続きまして補足説明資料の774ページをお願いいたします。
0:34:48	気楽評価結果のところ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:55	どういったウィンドウの設定が妥当であるっていうことを記載をしておりますが、
0:35:01	ご質問につきましてはは一定等、理想計算が適切に設定されて実施されているために、ウィンドウの設定の妥当性を判断するためには、
0:35:11	掃流市の
0:35:13	景観分布だけでなく、お子さんの空間分布や人ピース取りに対する評価値や
0:35:19	誤差の変化収束状況等を多角的に確認することで信頼性を向上すると考えられるということで、今日 4-2 図以外に確認した事項もありますかというご質問ですが、今回の評価ではメッシュ体を採用しております快適な手法。
0:35:38	参考評価であることから、簡易的な試行を採用しております確認できる項目としては統計誤差。
0:35:46	この第 4-2 図の分布図が連続的になっていることという確認のみとなっております。
0:35:55	続きまして、実 780 ページ。
0:35:59	お願いいたします。
0:36:02	180 ページの⑥の
0:36:05	周辺環境地形についてですが、
0:36:09	ご質問は付けを考慮すると実際には直接前例土壤に遮られ、到達しない、COMしできるとの判断かということですが、回答といたしましては、玄海の乾式貯蔵施設のワン地下構造となっている。
0:36:23	音から実際には直接線は土壤に遮られて到達しないと考えております。新しい今後の地形が変わる可能性も考慮いたしまして線量評価では居住による遮へいを考慮しないこととしております。
0:36:36	また既設建屋からの線量に対して、
0:36:39	乾式貯蔵施設からの線量は十分低く、合計線量の寄与が小さいことから現行の評価が問題ないものと考えてございます。29 条に対するコメントの回答は以上になります。
0:36:54	はい、ありがとうございました。質疑に移る前に今日口頭でご回答いただいているかと思うんですけども、このし、改めて事後で結構ですんで、資料としては提出するようにしてください。今日のご回答部分ですね。
0:37:12	九州電力の小田です。了解しました。
0:37:17	規制庁の方向です。
0:37:19	コメント回答ありがとうございます。
0:37:23	はい。まず
0:37:24	この部分の解析結果なんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:27	評価結果を見たら、
0:37:31	この乾式貯蔵施設からのスカイシャイン線量というのが、
0:37:35	他のからの既設建屋とかの
0:37:38	線量に比べて十分低いことで、あまり細かいところまできっちり詰めてですね、必要はないと思っていますので、
0:37:46	今回いくつかコメントあげましたけれども、すると便宜的なものもまざってます。
0:37:53	状況確認っていうのもいくつかもらっていますけれども、ちょっと一つ一つ
0:37:59	確認しますと、まずNo.一番、
0:38:03	これは解析の条件をどうしましたかっていうので、これは
0:38:08	F確認だけで、こちらの思った通りだということで回答いただき、
0:38:15	2番目も、
0:38:17	ふるさとに展開すると、角度分点。
0:38:21	本来解析条件として書いていただきたいなところなので、これは答えていただいたことをトレインヘッドの会費の
0:38:30	方法についても、
0:38:33	一般的な方法だと思いますので、特に問題があると思います。
0:38:41	双方使ってるFとか出てないということは
0:38:45	別個の解析結果を見て確認をされてますよね。
0:38:49	いかがでしょうか。
0:39:09	九州電力の小田で正当利益計画等のちょっと結果につきましてはまた別途等を確認してご回答させていただくということでよろしいですか。
0:39:21	規制庁の方は出品特に回析各景観を増大させてくださいとかいうところまでではないので、
0:39:29	ちょっとこういう方法を使ったというだけでなく、解析結果を確認して、ここの冷却ができないということを確認しましたと。
0:39:40	説明いただければそれで結構です。
0:39:46	九州電力の小田です。了解しました。
0:39:49	はい。規制庁の方向ですねって次の3番目は、プロフィールに対する指摘です。
0:39:55	修正をお願いします。
0:39:57	四つめの
0:40:01	被爆ジオメトリの話なんですけど、これは
0:40:05	伊方のときと同じということで、
0:40:08	そういう認識で大丈夫ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:13	九州電力の小田ですはい。いい方セイコーさんとセンコーの伊方さんと同じ方法を採用しております。以上です。
0:40:23	規制庁の方です。はい、わかりました。
0:40:27	状況と考え方と、
0:40:32	それが与える影響について
0:40:35	論理的に説明をいただいといますし、
0:40:40	つついとなるというわけではないんですけども、伊方の方と同じ考え方で、
0:40:46	実施してますということでありまして、これRFSの方ではPPを使っているとか、その辺がちょっとありますので、別紙に聞いてみたところで、
0:40:56	本当に／ROPを使ったら、
0:40:59	非常に気になるとかいう話ではありませんので、
0:41:03	技術的には特に問題はないかなと思います。
0:41:08	次の5番目。
0:41:16	10日も減衰率でRISの結果と比較したということなんですけども。
0:41:24	MCNPの結果で、その下にその結果と差がないってことを確認してるかどうかだけちょっと、また後日でいいか聞かせてもらえたらと思いますが、いかがでしょうか。
0:41:37	九州電力の小田です。了解しました。ちょっと確認をさせてまた後日回答させていただきます。はい、規制庁の方ですね、改めてこれあの、解析コードで計算してくださいという話ではなくて、
0:41:53	今出てきて出してもらってる。
0:41:55	名ずばりの結果だというふうにさせてもらってますけども、これのある程度案件として、
0:42:02	相対比較している。
0:42:04	MCNPの前だったらこうなったというので、
0:42:07	それが赤にすると大きく改善していただければいいかなと思いますので、よろしくお願いします。
0:42:14	次の6番目。
0:42:21	評価結果の信頼性についてなんですけれども、
0:42:25	これ本来はモンテカルロ解析で非常に重要なところですので、
0:42:30	できれば
0:42:32	1000、
0:42:34	線量率の分布だけでなく、ここに書いてあるような、
0:42:37	誤差の分布が出せるんだったら見て欲しいとか。
0:42:43	計算水位を見れるんだったら見て欲しいとか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:46	本来だったらあるんですけども、今回も
0:42:50	こちらでおっしゃるように簡易的な評価で、
0:42:55	N、
0:42:57	何点観点と相対関係をとっているだけで、
0:43:02	感度解析センターよりか
0:43:06	直接的な評価であるとかそういう扱いですので、あまりことも細かいことは言いませんし、
0:43:12	最初に申し上げたように、
0:43:14	絶対値が非常に低いので、
0:43:17	そんなに細かく、
0:43:20	完璧に見る必要はないかと思っておりますけども、今後、例えばMCNPで、
0:43:26	主軸となるような解析をする場合はこういうところが非常に問われてきますので、そういったそういう場合はこういう観点で、
0:43:34	回析を運用していただけたらなと思っておりますので、そこはよろしく申し上げます。
0:43:40	最後の 7 番目。
0:43:43	もう、
0:43:46	土壌の影響がどうなっているかというところで、実際には、
0:43:51	直接線はまず届くことはありませんよということで、
0:43:56	ということは、今出されている最終評価結果、
0:44:01	760 ページ。
0:44:06	760 ページの第 3-1 表のところに、
0:44:11	敷地境界、
0:44:14	外における年間線量で、ここで見ると直接線がスカイシャイン線。
0:44:21	竹波てた強いというスタッフだけが強いということになっていってこちらが支配的なんですけども、
0:44:29	実際は直接線がほぼ届くことはないので、
0:44:33	ここの評価結果というのは、
0:44:36	非常に保守的になりますと、そういう話で、
0:44:40	結果各社そういう話になるということでよろしいですか。
0:44:46	九州電力の小田でご認識で問題ありません。以上です。
0:44:52	はい、規制庁のことで。
0:44:55	そうすると 783 ページの最後の 6.4 まとめの方に、
0:45:01	現行の評価条件が下部の整備をするものではないということを書いてあったので、ちょっとそこで引っかかって聞いてみたんですけども。
0:45:11	安全側の評価なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:14	それで困るということで、特に技術的なところではないので、
0:45:19	皆さん事実関係が確認できたということでございます方からは、
0:45:24	5 ページは、
0:45:28	はないんですが、
0:45:37	ちょっと今回
0:45:38	挙げさせてもらった流れ、七つの項目以外にちょっと一つ。
0:45:44	これは、本件に対するコメントというより、ちょっと認識を聞いてみたいんですけども。
0:45:50	764 ページから
0:45:54	166 ページ。
0:45:56	ねえ。
0:45:57	そう。773 ページ。
0:46:00	解析コードの概要勤務表を四つほど載せてもらっていて、
0:46:08	その検証及び妥当性確認の
0:46:13	検証及び計算の項目のところ、1 ポツ目、計算機能が適正であることが後述する妥当性確認の中で確認しているという文言が出てくるんですけども。
0:46:25	これ本来のV&Vの考え方から言うと、それを、これはちょっと誤認ではないかと思っていて、
0:46:36	妥当性確認はベンチマーク解析とか企画に基づいて、
0:46:42	不確かさを評価しますという項目で、それに対してベルギー継承もそこでは見れない。
0:46:49	プログラムの根本のようなところを確認するという項目になるので、本来こういうことは言えないはずなんですけども。
0:46:56	今回使ったコード、例えばQADだとか、
0:47:00	洞道とこうだとか、こういったものが
0:47:03	V&Vした結果使えますよっていう話ではなくてこれまでどんどん使ってきて、使用実績がたくさんあるので、
0:47:11	もう
0:47:14	適用性は十分ありますよということで説明できると思っておりますので、
0:47:18	ここにこれを書いてあるかな等ということではないんですけども。
0:47:23	根本的にもうちょっと気をつけていただきたいなというふうに思っていて、今回これ修正してくださいとまでは
0:47:31	考えていませんけれども、
0:47:33	仮に

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:40	あまり実績のないコードだとか、完全に新しいコードを使いたいとなったときに、ベルギーpcmにこのように書いてあると。
0:47:51	ちょっと誤解が生じることになりますので、今後ちょっとこの辺は気をつけていただけたらなと思っていることで、
0:47:59	これ事実関係の確認ということで、ちょっとコメントとして出しております。
0:48:07	九州電力の小田ですが、了解しました。ちょっとこちらの記載についてはもう一度検討させていただき、必要であればまた修正をさせていただこうと。
0:48:17	思います。以上です。
0:48:21	別の
0:48:22	成功例の伊方でも、もうほぼ全く同じ。
0:48:25	文言で出てきてますので、特に今回これこれに問題を感じたということではないということで、もし、
0:48:32	そちらの方で何か検討結果があれば、
0:48:38	反映するのは、そちらのサイドでやっていただければいいかと思います。
0:48:46	九州電力の小田です。了解しました。
0:49:08	規制庁のミキヤですけれども、29 条関係はこちらからの確認事項は以上なんですけれども、9 電さんの方から何かありますか。
0:49:23	石田管理官の小田です。ちょっと宿題事項 1 の確認をさせてください。まず一つ目がジェイテクトについて実際に確認をしたかということと、
0:49:35	MCNPの清掃とかについてMCNPの結果と比較をして、
0:49:43	あまり乖離したものでないかということを確認をさせていただくということが多う宿題事項で、またコードの概要の説明の
0:49:55	につきましても著作人こちら確認をして必要であればまた別途説明をさせていただくという 3 点あったとっておりますが、よろしかったでしょうかそういう。
0:50:10	はい。認識は、
0:50:13	同じです。
0:50:16	九州電力の小田です了解しましたありがとうございますC購入基準についてこちらから追加で特にありません。
0:50:28	規制庁のミキヤです。そしたらまたもとの資料に戻りたいと思いますが、資料 1-2 から続きますかね。
0:50:38	越流電力の松永です。引き続き資料 1-2 に沿って説明したいと思いますがよろしいでしょうか。はい。
0:50:46	お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:52	人事戦略の松永です。それではですね資料 1-2 に基づいてご説明をいたします。こちらの資料一番につきましては前回の審査会合での指摘事項におけるのどぞういたしましたして、右側の 1 ページ目の②と③につきまして映像、
0:51:09	移動いたします。
0:51:11	ページめくっていただきます程度 3 ページ目になります。最後に指摘いただきました事項といたしましては、一般式扱いSenoする使用済み燃料の盆栽について整理することと、いうことで質疑を行っていただきました。
0:51:26	回答といたしましてはこちらのパワーポイントに記載の通り収納性が可溶通りであります通りとなっております。なおtype1 において 14×14 型燃料を収納する場合はバスケットと収納する燃料の間隙を調整するため、バスケットスペーサーを設置する設計としております。
0:51:43	それですね、タイプ 1 及びタイプ 2 に対して収納する種類燃料の種類といたしましては、まずJワンoil14 型のみこちらB型の混載も含みますが、これはタイプ 1 のみの週の期中の可能となっております。
0:51:59	17×17 型のみでレーリーが盆栽含みますこちらタイプ 1 及びタイプにどちらにつきましても収納可能となっております。
0:52:08	また、14×14 型と 1717 型こちらの 1414 と 1717 こちらの混載につきましては、タイプ 1 につきましては収納しない設計としております。
0:52:21	時続きましてタイプ一、二十 44 燃料を収納する場合、中央部、外周部ともに 5 号燃料を収納可能ですが、こちらにつきましては収納制限である燃料集合体一体の最高燃焼度及び乾式キャスク基の平均燃焼度、こちらを満足する必要があります。
0:52:37	下の表に書かした表に書いてありますのは、タイプ 1 の燃料支援の資料の抜粋になりますが、こちらですね収納性制限の 1 号炉及び 2 号炉 2 号炉用燃料のところにつきまして、中央部につきましては燃料集合体一体の最高燃焼燃料燃焼度工房燃料まで入れることに
0:52:57	なっておりますが、外周部につきましては、こちら 4、47、47 までとなっております、こちら 5 号燃料を 47 ギガワットまで燃やした燃料であれば、
0:53:09	外周部には収納可能というふうにしております。あれですね、その下のところに書いております通り乾式キャスク一定の平均燃焼度、こちらの方につきましては 43 行ってPart年止まれ前平均燃焼度として全体の
0:53:25	収納制限としております。
0:53:29	こちらの中の混載に関する記載につきましては、補足説明資料のページで言いますと 300 ページ 349 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:42	こちらの方にですね使用済み燃料貯蔵用のタイプ1といたしまして1号炉及び2号炉用燃料収納時と3号炉及び4号炉用燃料集の時(エ)と括弧Bにつきましては、ちょっと記載の後に、下から4行目で、なお書きでなお1号炉及び2号炉用燃料と3号炉及び4号炉用燃料を、
0:54:02	別容器に収納しないというふうに記載しております。
0:54:06	また、同じくSPEEDIの379ページ。
0:54:14	379ページに記載しております使用済み燃料の乾式貯蔵容器の収納条件についてというところの2パラグラフ目なんですか、こちらにですね、乾式キャスクには3号炉及び4号炉で使用された1717燃料を区別なく混在である。
0:54:31	また、乾式キャスクには1号失礼しますIINET伊地知B型には1号炉及び2号炉に使用された1414燃料を区別なく混載可能であるとともに、1号炉及び2号炉用燃料と3号炉及び4号炉の燃料を統一料金収納しないとして、混載。
0:54:48	そう記載しております。
0:54:53	またですね、
0:54:54	ページめくりまして当初の380ページから382ページにかけましてそれぞれ注記のところで、燃料の混載に関する注記を追記いたしました。
0:55:12	まず指摘事項の一つといたしましては、以上になります。
0:55:16	もう一つ指摘事項としていただいておりますのは、
0:55:20	資料戻ります資料1-2のパワーポイント4ページ目。
0:55:25	パーシキヤスクのタイプ1には、1414燃料を収納する際に使用するスペース増スパーサーの解析値の取り扱いについて整理することと指摘をいただいております。
0:55:36	回答といたしましては勝井のバスケットスペースを設置することをしておりまして、解析値の取り扱いについてはパワーポイントの5ページ、6ページ目にお示しいたします。
0:55:48	こちら左側の鳥瞰図に記載しておりますが、このす。使用済み燃料、青で書かれた使用済み燃料の少し下の部分に黒、黒の四角で囲われているところ、こちらがバスケットスペースになっておりまして、バスケットプレートはバスケット、
0:56:05	発電所で燃料を入れるセルにですね、使用済み燃料とペレットバスケットプレートの間隙を調整するためにこちらを家というものとなっております。
0:56:16	パワーポイント5ページをご確認ください。
0:56:20	これはですね、バスケットスペースの解析上の取り扱いについて今回伸びてます。解析上の取り扱いといたしましてはまず閉じ込めの臨界防止機能遮へい機能の除熱機能の順番でご説明いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:33	まず閉じ込め機能についてです。
0:56:35	こちらバスケットスペースを基準漏えい率の算出過程において、1414 燃料収納時における乾式キャスク本体内部体積を算出に当たり、バスケットスペースは本体内部の収納物として考慮しておりますが、乾式キャスク本体内部体積はより小さくなる 1717 燃料代表として閉じ込め評価を実施しております。
0:56:58	続きまして、臨界防止です。
0:57:01	実効増倍率を評価するためにバスケットスペースは燃料配置を決める要素としてモデル化しております。
0:57:08	で、こちらにつきましては実効増倍率を〇戸籍に大きく評価するため、バスケットスペースの寸法公差を以下の通り設定しております。
0:57:18	まず、乾燥状態での臨界防止評価につきましては、隣接する燃料との距離を短くするために、
0:57:24	バスケットスペーサーの外線を最初、また板厚を最小として評価しております。
0:57:31	冠水状態といたしましては、燃料水位、
0:57:36	に存在する水の量が多くなるように外線としてはノミナル値＝最大一定板厚については最小値で設定しております。
0:57:44	こちらバスケットスペースについて外線をノミナルで括弧最大値と書いておりますが、このバスケットスペースにつきましては、外線に関する寸法公差としてプラス側の誤差を設定されておられませんので、ノミナル値イコール最大値となります。
0:58:01	続きまして、ページをめくっていただきまして、6 ページ目になります。
0:58:07	こちらについては遮へい評価の解析の取り扱いについてご説明いたします。
0:58:12	乾式キャスクの線量当量率を評価するため、バスケットスペースを燃料領域として検均質化Cモデル化しております。バスケットスペースの遮へい効果を小さく保守的に評価するために、板厚は寸法公差のマイナスを用いて最小として均質モデルに考慮しております。
0:58:29	またGuide以前の黄砂は影響は小さいためこちらを考慮しないとしておりまして、概数はノミナルの最大値、板厚につきましては、最小値を
0:58:39	記載していると書いているような入力しております。
0:58:45	最後に除熱評価です。除熱評価につきましては、燃料集合体の温度及び乾式キャスク各部の温度を評価するために、バスケットスペースを年熱伝達経路の一部としてモデル化しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:58	こちらバスケットスペーサーの寸法公差は率に対して影響が小さいため、考慮していませんので概数についてはノミナル＝最大値、二つについてはノミナルといたしまして評価を行っております。
0:59:14	この記載につきましては補足説明資料に移りますけれども、
0:59:23	通しページの
0:59:25	545 ページ。
0:59:30	こちらをまずご確認ください。こちらにつきましては 545 ページの第 2 パラグラフ目のところで、今、パワーポイントでご説明したところについて記載をしております。
0:59:47	引き続きまして 500、
0:59:51	5 ミキヤto61 ページ目のところからですねと臨界防止につきましてはもともとバスケットスペースに関する記述はしておりましたがよりわかりやすさの観点から 561 ページですと、構造図にバスケットスペースを明確に明記したものと、
1:00:08	あと続きまして 564 ページですね。
1:00:11	こちらの下から
1:00:14	2 行目ぐらいのところのなお書きから、1414 燃料集の事業バスケットスペーサを用いることを追記いたしました。
1:00:24	また、568 ページのところにですね、乾式キャスクの臨界解析モデルの寸法条件を記載しております、この中ではバスケットスペース外線及び板厚に関する記述フランス条件の設定根拠を記しておりますが、こちらについてもわかりやすさの観点から
1:00:42	文字を追加しております。
1:00:48	また通しページ 573 ページ以降臨海地域の中で、それぞれバスケットすべてが考慮しているところにつきましては、それぞれ江戸アルミアルミニウム合金鉄、括弧バスケットスペーサーという五つを行っております。
1:01:18	それぞれの遮へいにつきましては、通しページの 611 ページ。
1:01:30	こちらについて、こちらのページですね貯蔵の解析モデルの東部のM
1:01:37	東部のモデルがあるんですけども、この中でバスケットスペーサ技術化される領域というものを追記いたしました。
1:01:44	また同じく 612°Cと 62 ページにつきましても同様に記載しております。
1:01:54	最後に財津解析についての室長S解析につきましてはすべての 658 ページ。
1:02:03	及び 659 ページですねこの中で全体モデル形状ずっとモデルの要素分割図。
1:02:10	こちらについてのバスケット。
1:02:13	スペーサーを明確に記しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:17	審査会合でいただきました指摘事項につきましては回答は以上となります。続きまして先日 11 月 25 日が来週のヒアリングのときにいただきましたコメントについて回答いたします。
1:02:33	まずいただいたコメントといたしましては、キャスク内水が半分の状態での臨界評価を説明することといたしまして、こちらは補足説明資料の 597 ページになります。
1:02:49	はい。
1:02:55	これからの御説明は資料はないと、補足の中でご案内いただくとということですね。
1:03:03	九州電力の松永です。ご認識の通り今からコメントや今から回答する内容につきましては、補足説明資料の中でご説明いたします。
1:03:16	お願いします。
1:03:20	はい。九州電力の松永です。まずコメントをいただいておりますキャスク内に水が半分の状態での臨界評価を説明することにつきましては、通しページの 597 ページのところで記載をしております、
1:03:34	括弧になりますが、乾式キャスク内部の水位変動除塵解析影響についてということで記載しております。
1:03:42	乾式キャスク内部は燃料収納から乾燥までの工程において、冠水状態から乾燥状態まで水位が変動するものの、SEの低下に伴い、実効増倍率がいつも低下することから、実効増倍率は冠水状態が最大となっております。
1:03:57	それぞれ水位変動における実効増倍率の評価結果を 24 ページを例として記載しております、
1:04:05	取り扱い手順としてとしましては、まず、1 燃料装荷と一次蓋取付のタイミング、こちら冠水状態として実効増倍率は 0.92。
1:04:15	その後排水と真空乾燥不活性ガスの充填、この作業を行うにあたっては、
1:04:22	右歳出PARあります通り、すいません。
1:04:28	それで実効増倍率が低下しております、最後の突合のタイミングにつきましても資料に記載の通りとしております。
1:04:38	続きまして、もう一つコメントいただいております内容といたしましては、CHASTEの使用済み燃料装荷後の真空乾燥及び閉MS管の作業手順を説明することということでコメントいただいておりますので、参考 7、乾式キャスクの真空乾燥についてを追加しております。
1:04:56	具体的な提示といたしましては、70 通すページの 740 ページから 744 ページになります。
1:05:09	740 ページ参考 7 時間式気圧の真空乾燥について述べます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:14	当時 741 ページで真空バスの工程についてということで乾式キャスクはキャスクピットにて使用済み燃料を収納した後、内部水の排水及び乾燥を行い、不活性ガスを充填します。作業工程の概要は以下に示す通りとなっております。
1:05:32	第 1 表として真空乾燥の作業工程の概略手順の例を示しております。
1:05:38	まず概略。
1:05:40	作業工程といたしましては最初に容器のつり上げ移動吊り下ろすと 1V の締め付けを行った後、
1:05:48	キャスク内部水を会津いたします。排水が終わり次第図 3 の通り、真空乾燥を行いまして、
1:05:59	その後、不活性ガスを充填して、16 時間程度停止いたします。ページ変わります同 5 番になりますが、また改めて真空乾燥を行って、最終的に再度不活性ガスを充填して、ISO にしがたい避けていきます。
1:06:18	税務問題でございますが、新館層序燃料被覆管の温度の上昇についてというところが議論になるかと思いますが、こちらにつきましては、ずっと対応といたしましては真空乾燥工程では乾式キャスク内部における気体の濃度の低下に伴い、熱伝導率が低下して使用済み燃料の崩壊熱バスケット及び等へ伝達する。
1:06:38	状態となることから、第 1 章の工程におけ燃料被覆管の温度を評価しております。
1:06:44	評価条件といたしましては、伝熱形態及び設計崩壊熱量適用による評価の保守性は、別添 4 の除熱機能強化と同様ですね。解析条件の概要は、第 2 表、次ページに 1 ページの開発状況の概要として示しております。
1:07:00	一方評価条件は第 3 表に示す通り各工程に応じてキャスク内部のガスの雑巾を変更しております。
1:07:06	ということで次のページめくっていただきますともう基本的に除熱機能の評価と内容としては一緒なのですが、
1:07:14	第 3 表の示す通り各工程において内部のウエートが II の条件が違いますのでその条件を加味した上で評価を行っております。
1:07:24	最後評価結果になります。評価結果は第 4 表に示しております。燃料被覆管の最高温度は 5 号燃料及び 4 号燃料ともに約 230 度が上昇いたしますが、5 号燃料の制限温度である 250° 以下及び 44 × 燃料の制御してるんである 275 以下を満足するため、
1:07:43	燃料被覆管の減ずる構造健全性には影響いたしません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:47	なお真空乾燥工程では使用済み燃料の崩壊熱バスケット及び漏えい伝達しにくい状態となることから、液圧高構成する各部の温度は通常都合時と同等程度であり、構造健全性には影響しないとしております。
1:08:04	主荷重係数が真空乾燥に関する記述としては以上になりまして、16条に関わる審査会合指摘事項及びヒアリングでのコメントに対する回答は以上となります。
1:08:19	はい、ありがとうございました。
1:08:26	資料1-2、
1:08:31	規制庁のミキヤですけれども、資料1-2のまず最初の②番の方ですね3ページ目。
1:08:38	条件を記載いただいて、この条件でこの際、
1:08:44	できないというのがtype案のところの点のみで、
1:08:49	R14と17の交差混載はType案ではしまず、できませんと。
1:08:56	それ以外は基本的にはできるけど対象が、これは14と中段です。はい。で、この話について、海盆ちょっと面白いなと思ったんですけど、申請書にもきちんとこういった条件で今後収納しますというのは、
1:09:13	書いていただきたいと思ってるんですけども、そちらの方の検討はいかがですか。
1:09:22	九州電力の松永です。すいません。それぞれ混載につきましては、申請さの方にと明確な記載。
1:09:31	明確にと記載しておりませんでしたので、冷凍今補足説明資料の
1:09:39	6ページで言いますと、
1:09:42	300やれ通しページの349ページに記載しておりますような記載の案を今後補正する中で時追記しようと考えております。
1:09:55	以上です。
1:10:25	規制庁のミキヤです。ここの10、
1:10:28	349ページ目では、これまでの記載から学ぶが来として統一料金収納しないというのを、
1:10:37	混載しないものについては記載したと。
1:10:42	ということと、
1:10:49	Type IIは、
1:10:55	そもそも17しか範囲内から個人ABこの際話だから、
1:11:01	Type IIは変わらないんですね。
1:11:05	九州電力の松永です。はい、ご認識の通りでございます。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:23	はい、わかりました。今申請書と言ったら一応本文という理解でよろしいですか。
1:11:33	パッケージだけでも流れ制度自体につきましては、先発Gの記載を検討しております。以上です。
1:11:45	はい、ここで言いました。
1:11:49	規制庁フジモリですけど。
1:11:52	ちょっと
1:11:55	不十分かなと思っているのが、
1:11:59	1 から 4 号まで共用でtype案が上がっていった、
1:12:03	その共用のその基準とかを考えると、
1:12:08	1 から 4 号共用というのはなくて、12 号共用のキャスクと 34 号共用のキャスクで、本部長を含めてばっか出てないと。
1:12:23	括弧イギリスの 12 号収納時と書いてますけども、
1:12:27	共用の考え方。
1:12:29	その基準との関係も、今後の設工認等を踏まえると、
1:12:35	12 号共用のが一つ、34 号共用のが一つと。
1:12:40	本部長も含めて明確に、
1:12:43	わからないところの 1 から 4 号共用という記載はやっぱり、
1:12:48	ちょっと
1:12:49	おかしいと思ってるんですけどね。
1:13:04	だってちょっとそういう指摘。
1:13:08	我々としてはそういう指摘をしたつもりなので、
1:13:13	本文の記載を含めてちょっとご検討いただければと思います。
1:13:31	PCのまず少々お待ちください。
1:14:53	九州電力の松永です。ご指摘につきまして拝承いたしましたそれと内容につきましては検討させていただきます。以上です。
1:15:19	スペーサー
1:15:27	規制庁ツカベですけど、ちょっと 3 番のスペーサーの話でお伺いしたいんですが、
1:15:33	スペーサーのその機能としては、
1:15:37	具体的にどこまで何が期待されてるんでしょうか。単にそのスペースを埋めるという、
1:15:45	機能だけになるんですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:48	実現力の松永です。ご認識の通りバスケットスペーサーにつきましてあくまで二相燃料と冷凍プレート等の間隙を調整することを期待しております。以上です。
1:16:02	はい。規制庁のツカベです。／設工認というか、実際設計するときDBと扱うの かっていうのが気になって聞いているんですけど、今の例えば、
1:16:15	設計上考慮する荷重みたいなどころでは、
1:16:19	出てきてないと思うんですけど。
1:16:23	そこは、
1:16:24	その機能を期待しないので、
1:16:27	含めない。
1:16:29	ということになるんですかね。
1:16:35	求人松永です。すみません。少々お待ちください。
1:17:05	九州電力の渡辺先生にちょっと確認の上勾配とさせていただきます。以上です。はい。ありがとう。
1:17:14	経年管理。
1:17:16	長期健全性のところでも、
1:17:19	ちょっと今回説明を書かれて、地域はされてないと思うんですけど。
1:17:24	そこについて、
1:17:26	どうお考えですかと。
1:17:29	いう質問です。
1:17:46	基準に比べて持っています。こちらは製材につきましては、バスケットも同じCRDM号機で
1:17:55	言っておりますので、内容としてはバスケットと同等と考えられますが今ご指摘の通り、スペーサという言葉で長期的、
1:18:03	だけで整理を延びた箇所はございませんので、改めてちょっとこちらのほうは記載を検討させていただきます。以上です。
1:18:11	はい。
1:18:12	で、あとちょっと、
1:18:18	実機で使われてる事例っていうのは、
1:18:20	国内、国外含めて、どっかで
1:18:24	あるんでしょうか。
1:19:13	すみませんちょっと今回の貯蔵兼用キャスクっていうのはなかなかちょっとまだ実績がないので、あれなんですけれども埋蔵容器自体はですね、14 燃料と1720 運んで実績がございますのでその点ちょっと確認させてください。
1:19:27	以上です。生活科はやっぱりよろしく。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:44	規制庁のミキヤですけども
1:19:46	介護の方は以上で、皆さんヒアリングライフをちょっとページ数をチェックし忘れたんですけども、最初から出していただいたんでしょから早くスタートしましたっけ。
1:20:00	九州電力の松永です。CHASTEの水位、水が半分の状態での臨界評価を説明することというコメントに対しましては通しページで言うところのほど説明資料の 597 ページ。
1:20:12	になります。
1:20:15	以上です。
1:20:29	わかりました。
1:20:33	規制庁ですけど、全体的な
1:20:40	いただいちゃって、屋上で有効性をはかってみたいよねっていう話をしているんですけど、そこら辺、今年で委員会からの修正事務苦情以外の含めて、SERP便で来ていただけますか。
1:20:57	レジンに達したら終わりじゃないんです。
1:21:01	勝手に見るべきなんです。
1:21:07	今のところ全般的なコメントポイントでちょっと3点がどうかという。
1:21:17	規制庁ツカベですけど、
1:21:20	597 ページ目のところで、
1:21:23	2点ほど確認したいんですけど、1点目が今回マスキングされていると思うんですけど、
1:21:31	ここがマスキング。
1:21:32	になる理由は何でしょうか。
1:21:36	申し訳ありません。九州電力の松永です。申し訳ありませんちょっとマスキング対象がちょっと広目に取り過ぎたところありません。すいません、こちらにつきましてはまた申請修正の上、申請したいと思います。以上です。
1:21:57	有効長下端からの長さで書かれてるんですが、一番右というのは、
1:22:04	一番上まで水が入った状態。
1:22:09	の値だということよろしいですか。
1:22:14	補欠度こちらにつきましては、燃料有効長下端からの推移を記載しておりますので、一番右Bの状態が冠水状態というわけではないです。
1:22:26	以上です。制度ツカベです。はい。そういう意味で、どここの状態までを
1:22:33	評価されたことになっているのかということと、基本的にはもうほぼサチっているようにも見えるんですけど。
1:22:40	これ以上あまりかかわらず、その一番上の辺りに入っていきませんよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:47	というのは確認されてるのでしょうか。
1:22:51	九州電力の松永です。そちらにつきましては確認をしておりますが、資料としてはすいません。今そのような記載になっておりませんので、記載はちょっと再検討させていただきます。以上です。
1:23:04	規制庁塚部です。はい、よろしく申し上げます。
1:23:16	ちょっと資料 20 です。
1:23:20	規制庁のミキヤですけどその次にご回答いただいたのは、シンク活動の手順に飛んだんでしたっけ。
1:23:29	はい、九州電力の松永です。遅い通りの生活の手順に富んでおりました、ページといたしましては、補足説明資料の 740 ページからになります。以上です。
1:24:01	規制庁のミキヤですけども一応ちょっとこれ確認ですけども、
1:24:07	学会標準
1:24:09	を参考になってなってますけど、基本的にはそういう考え方を踏襲してるということでもいいですか、それとも何か少し、
1:24:16	それはオリジナルで変えているところがあるのでしょうか。もうちょっと学会標準と照らし合わせればよかったんですけども。
1:24:24	電力の松永です。こちらにつきましてはあくまでこの数字附属書 9 を参考としてと記載しておりますがこちらの方と都道同様の内容にて時間等を設定しております。以上です。
1:25:12	入れて、
1:25:15	2 回目です。
1:25:18	な対応っていうのは何で終わる。
1:25:34	マニュアルって、
1:25:36	正確だね。
1:25:41	九州電力ではZ真空乾燥の完了何をもって見ているかというご質問でしょうか。以上です。
1:25:51	その不活性ガスの充填じゃなくて、充填
1:25:55	不活性化ガスが充填終わりっていう判断基準ですね。
1:26:20	それにどう達成九州電力の松永です。不活性ガスの充填の基準、判定基準につきましてはすいません持ち帰りまたご回答いたします。以上です。
1:26:55	規制庁のミキヤですけども、今ご説明いただいたところまではコメントできたと思ってるんですけども、今日ちょっと別途メニューだけ確認したいんですが、この後の予定はどうなりますでしょうか。
1:27:09	C電力の松永ですとコメント回答につきまして六条が残っておりますので、そちらについてコメント回答したいと考えております。以上です。先ほど桜井が申

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	し上げた、この補足説明資料ちょっと分厚くてですね、どこがどう変わったかはいまいちわかってないところもあるんですが、
1:27:27	先ほどからやはり6条法、
1:27:31	確認すれば一通りの変更箇所が網羅できると、そういう理解でよろしいですか。
1:28:02	九州電力の松永です。すみません16条の補足説明資料につきまして、今ご説明してない中でと変更している箇所がありますのでそちらについてお伝えたいのですが、よろしいでしょうか。
1:28:18	はい、お願いします。
1:28:22	はい。九州電力の松永です。補足説明資料の映像362ページの363ページにつきまして、
1:28:32	こちらにつきましては349ページと同じように記載を変更しております。
1:28:40	続きまして補足説明資料の370ページ、こちらについては目次のところですが、参考7の乾式キャスクの真空乾燥についてはこちら参考7を追いたしました。
1:28:54	Hそれとですね、ページ飛びましてごうぎんさんの517ページなんですけれども、こちらは乾式キャスクの搬送台車の側面図を記載しているのですがいたのですが、こちらはですね申し訳ありません案を
1:29:10	貯蔵架台が昔のカップホルダーの絵のままになっておりましたので、こちらとなにを公式に新たに变更しております。
1:29:24	OHそうずっと、
1:29:40	少々お待ちください。
1:30:02	後で九州電力の松沢ですね動作に記載16条の最後になりますが、申し訳ありません、ちょっとページ戻りまして、補足説明資料406ページになるんですけども、
1:30:14	こちらの下から
1:30:19	10行目のところに、(1)自然現象等に対する使用済み燃料乾式貯蔵施設の設計方針というふうに括弧書きで、資料名が記載されているんですけども申し訳ありませんこちら、もともと3ポツし、自然現象等に対する使用済み燃料、
1:30:36	乾式貯蔵施設の設計方針を記載しておりますが、こちらについては、9ポツ、自然現象等に対する使用済み燃料乾式貯蔵施設の設計方針が正式ですので、こちらについても申請いたします。
1:30:49	16条関係で説明していない箇所については以上になります。
1:30:55	はい。最後の406ページ目というのはまた作り始まっている。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:01	その台車については、旧交通自然現象に対する使用済みだからっていうそういうことですね。
1:31:09	はい、おっしゃる通りです。
1:31:13	はい、じゃあ、別途のところは 6 条ということですね。
1:31:20	今御説明その 16 条の御説明ですすでに 1930 につきましては御説明してないところはあえてありませんので、続きましてと六条のコメント回答を行いたいと思います。以上です。はい、お願いします。
1:31:36	九州電力宮本でございます。それでは六条の前回ヒアリングのコメントを受けて修正した箇所についてご説明させていただきます。
1:31:46	まず 100kAまとめ資料、補足説明資料ですけれども 137 ページになります。
1:31:54	コメントとしましては、六条の説明資料について、主語を明確にして説明対象がわかりやすい構成とすることというコメントをいただいております。
1:32:06	それを受けまして 137 ページに記載を追加しております。
1:32:11	2 パラグラフ下のところからになりますが、まず建屋について、要求事項である 6 条 1 項、
1:32:20	及び 3 項に対する外部事象の説明書を外部事象のまとめ資料に記載をしますというような、
1:32:30	内容を示しております竜巻外部火災についても同様に、
1:32:36	預金に対する
1:32:38	6 条 4 項 1 号に対する更新を竜巻に示しますと、
1:32:44	A4 項 12 号及び 6 項に対する外部火災について、
1:32:49	に関する要求事項に対しては、外部火災に示しますと、いう方針をまず書いております。次のページの
1:32:57	138 ページに、六条の資料の目次を書いておまして全体の構成がわかるようにしております。
1:33:11	続きまして、
1:33:13	144 ページですけれども、
1:33:20	こちらに適合性説明の欄がありますが、こちら全体を示して 4 項 6 項については対象外でしたので、もともと記載を
1:33:31	していなかったんですけれども全体を示した上で対象を四角囲みするという考えのもと、4 項 6 項についても記載を追記しております。
1:33:47	続きまして 150 ページになります。
1:33:52	50 ページですけれども、許可の既許可というよう号についてちょっと資料内で統一されてなかったもので、そちらを統一しております。
1:34:03	こちらでまず、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:07	既許可の定義をしまして、以降は許可という言葉で資料を統一しております。
1:34:17	続きまして
1:34:21	来他からの変更の有無がわかる記載ということと、気象データの追加調査を実施した理由を明確に書きなさいというコメントをいただきましたので、152 ページに記載をしております。
1:34:35	152 ページに来国家の気象条件、
1:34:39	について記載をしております、
1:34:43	155 ページのまとめ資料の中で
1:34:48	気象データの追加調査を実施した理由について記載をしております。
1:34:54	記載の内容としましては既許可における基礎データの統計データ。
1:35:00	から、今回の申請時点、
1:35:03	における気象データを追加調査することで、既許可からの変更の有無を確認しました。
1:35:08	というような記載を追記しております。
1:35:15	最後になりますが、152 ページの
1:35:20	2、
1:35:21	航空機落下について設計上考慮する必要がないと。
1:35:25	伝えますがその考え方を説明することというコメントをいただきました。152 ページの表の一番最後になりますが、
1:35:35	飛来物、航空機落下ってということについて記載をしております、
1:35:40	航空機落下については、
1:35:43	対象施設が独立したって施設になるので、乾式貯蔵建屋に対する航空機落下確率を評価しております、こちらが 10 のマイナス 7 乗以下を超えないために、
1:35:58	航空機落下につき、
1:36:00	道路防護については設計上考慮する必要はないという記載を追記しております。
1:36:06	六条の説明については以上になります。
1:36:12	はい、ありがとうございます。
1:36:15	二つ目ですか。
1:36:19	水が、
1:36:54	こういった行為じゃなくて、
1:36:59	今回、
1:37:01	追加したよっていうもの。
1:37:04	好きなものになったら、ハッチング部分で切るってということなんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:16	九州電力宮本ですし、黄色部分については最終的にはAハッチングなしの状態でご提出させていただきます。
1:37:24	以上です。ミキヤですが、ちょっと我々白黒でちょっと見ちゃったんで、企業とか喫食だったらわかるんですけども。
1:37:32	真西直上で使ってないですよ。
1:37:37	何となくクロック土産のうち、これは多分おっしゃってるところかと思うんです。
1:37:43	はい九州電力宮本でございます。その認識で結構でございます。
1:38:06	そうですみたいから大きく変わったところ、104 ページ目に出てるところで記載してるんです。
1:38:16	1 点だけちょっと。
1:38:37	認識したわけじゃないです。
1:39:26	ですけど、所則は赤それぞれ外部事象の一番の人口構成を説明して、
1:39:34	その通りにして格納容器づけ耐力よって感じなんですけど、竜巻の方も当然ベター手当申請外貨のところとリリースされてるんですけど、
1:39:53	申請書とかをどうされるのか、どうしようと思ってます。
1:40:01	九州電力宮本でございます申請書につきましては 6 条に対して一つになってますので、こちら全部記載されてるような形で添付 8 はなっております。
1:40:16	以上です。
1:40:21	規制庁のミキヤですが、CHASTE以外のところも含めて今要はこの資格学校医がキャスクに関連するところですよ。
1:40:30	103、143 とか 144、144 の 3 ポツとか、
1:40:38	こういう形で、要はキャスクに関係するものと、今回新たに追記したキャスクに関係しない 4 について、こういうものも全部添付 8 に書いていました。
1:40:50	九州電力宮本でございます。
1:40:55	はい、その理解で結構でございます。
1:41:02	資格がこう言わないんですよ。そうすると何がキャスクに関係した審査ありなのかっていうのがわからない。
1:41:13	九州電力宮本でございます。
1:41:17	記載につきましては、それぞれの 43/143 ページとかですね、144 ページとかですと、A3 についての下のところで、まず主語に家庭泡だったり、A4 についてのところでは容器はという主語にしていますのでそちらで、
1:41:35	対象については明記していると考えております。以上です。
1:42:20	規制庁使われるんですけど、
1:42:23	構成の確認ですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:25	天端ついとしては、両方とも同じなので、一行両方に書いてますということと、建屋については、
1:42:33	139 ページですかから入っていて、
1:42:38	容器については 162 ページ目から関連する部分、四角囲いで書いている。
1:42:46	それぞれ中身を見ればどこが
1:42:50	審査の対象かわかる形になってるという理解でよろしいですか。
1:42:56	はい中部電力宮本でございます。その理解で結構でございます。以上です。
1:43:44	規制とツカベですいません。竜巻のところで、今回その大型車両を飛来物として、
1:43:52	選定されていると思うんですけど、その辺りで、既存の規制の時の
1:43:59	その説明から、
1:44:02	変わる部分というのをちょっとご説明いただけますか。
1:44:10	はい九州電力もそうでございます。今回設計飛来物が大型バスに
1:44:19	学校製材から大型バス、
1:44:23	なりましたので、変わる点としましては、
1:44:41	設定工認の段階になりますけれども、施設、
1:44:46	評価相当しつつ評価について、大きく変わります。
1:44:51	それについてそこは充てるものを大型バスに変更してございます。また、運用についてもについてですけれども、従来は
1:45:03	構成材料おっきいものは飛ばないように、
1:45:09	固縛であったり、
1:45:11	いろんな対策をしていたんですけども、今回、大型バスという大きな
1:45:17	ものを総ショートさせるということでそういう固縛管理っていうことは行わないように考えております。
1:45:27	以上でございます。
1:45:32	規制庁ツカベです。新規性基準でやってたのは管理は引き続きやった上でという。
1:45:39	その上で、大型車両についての固縛みたいな措置はないという意味のご説明でしたので、継続できるシーズメンの宮本でございますすいませんけど説明不足でした。その理解で結構でございます。再稼働の
1:45:56	既設建屋に対する
1:45:59	飛来物管理は行いつつ、
1:46:01	今回、乾式貯蔵建屋が公道を近傍に設置されますので、
1:46:09	九州電力では管理できない。
1:46:11	エリアが含まれますので、そちら。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:14	乾式貯蔵建屋に対する飛来物管理はしないと。
1:46:19	いう。
1:46:20	御説明になります。以上です。
1:46:36	は、前回のヒアリングでも説明された今週ですけど、ITエリア検層地域地域っていうか、エリアを設定して、
1:46:46	だから結構ありますです。
1:47:28	九州電力宮本でございます。
1:47:31	既設建屋の飛来物管理のエリアにつきましては変更がございません。
1:47:38	掃流の上で乾式貯蔵建屋については、
1:47:42	近傍同じ説明になりますけども、近傍の近傍に公道など管理できないエリアが、
1:47:50	近くなりますので、そちらについては、エリアを設定せず、
1:47:54	最大径の飛来物としてバスを選定しまして、その評価を行うという方針にしております。以上です。
1:49:08	すいません規制庁のミキヤですけども、152 ページでご説明いただいた。
1:49:15	航空機落下なんですけれども、
1:49:19	これ乾式貯蔵建屋に対する確率評価を今回やられたということですけども、
1:49:27	ここのやられた趣旨が、
1:49:31	6 条要求として、外部事象として考慮する必要がないことを確認するんであれば、
1:49:39	原子炉施設として、標的面積を考慮して、要はた原子炉施設の建屋本体とかですわね。
1:49:48	開梱とかですわね。
1:49:50	それに加えて今回キャスクが加わりますのでキャスク建屋も加えて標的面積がどのぐらいでっていう計算をしないと、
1:50:00	意味がないと思ってますので、そこは外導にはきちんとその総和を求めると言ってますので、
1:50:08	そこは今の書きぶりです登録上要求は満たしていないということになると思ってます。
1:50:17	で、ごめんなさい、ここで僕は指摘したかったのはまだ全然入口のところではなくて、
1:50:24	今回、航空機落下評価するんで、34 号がゲート前後の共用建屋になってますので、具体的には、
1:50:34	また 1 号 2 号 3 号 4 号、3 号 4 号 3 号 4 号にキャスクだけを足したような標的面積は考慮してないはずなんです、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:44	多分 3 号なり 4 号の大きい面積等を加えて評価するんだろうなと思ってたんですけども。
1:50:50	具体的にはどういう標的面積を設定するんですかって言うのが一つと。
1:50:56	あと、一番の問題は、今後、この航空機落下の評価の数字が、
1:51:04	事故、事故の統計データが来年 1 月ぐらいには新しいデータが出るはずですので、
1:51:12	そういった最新の情報も含めて、今現時点での評価が平成何年ごろまでの情報で評価されていて、
1:51:22	いるのかというのをちょっと確認したいなと思っております。
1:51:26	ちょっと 1 月に新しい出るのかって、述べるっていうのは、我々技術情報検討会で今予定されていると聞いているものですから、ちょっとそここの兼ね合いとで、
1:51:38	わかっています。
1:51:41	以上です。
1:51:57	九州電力の寺崎と申します。先ほどご指摘いただいた標的面積の考え方ですけども、我々今回
1:52:11	SPEEDI 建屋につきましては、まず既設の建屋 3 号炉 4 号炉から、以下がかなりございまして、また乾式建屋につきましてはそれで独立で独立性を有する建屋ですので、
1:52:27	ガイドに書いてる通り、
1:52:30	特に放射性物質を含む建屋であるということで、重要な施設と考え、航空機落下確率評価してございますけれども、既設の建屋とは切り離して、建屋単体で評価して、
1:52:45	することは妥当であると考えてございます。それから事故データのことにつきましてご指摘ございましたが、今回数字出してる数値につきましては、現在公表されている最新データ具体的には令和元年の 12 月付けのデータで評価をしておりますけど、
1:53:04	近々
1:53:06	新しいデータが出るっていうところは、我々も認識はしておりますけれども、それが出た時点での影響は確認をする必要があるとは考えてございますが、現時点である最新のデータで評価しているということは、ご説明させていただきます。以上でございます。
1:53:23	はい。わかりました規制庁ーミキヤセット令和がさ後者の方からいくと令和元年のデータであれば、データとしては平成 30 年までのデータということですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:33	同斜平成 29 年までのデータということですね。
1:53:37	九州で。
1:53:39	電力の寺崎です。はい。掃流先生 29 年までです。はい。以上です。一応許可までの間に、おそらくちょっと新しいデータが出てくるかと思えますのでそこところはまたちょっと我々の方でもってして、
1:53:51	それから標的面積の話なんですけど、離隔距離が離れてるんであればその考慮する必要ないってのはどっかに書いてありますか。
1:54:01	乾式建屋だけ評価しておけばいいんだというのはこれ多分あまりそういう今まで評価れてないと思うんですけども。
1:54:10	九州電力の寺崎です。ご指摘の通り、ガイドの方にそういった明確な記載があるものではございません。
1:54:18	PAZが以上です。私承知しております。
1:54:22	これを作るときに携わったんで、ただ米三に今回の申請において、乾式貯蔵建屋だけを評価して 10 のマイナス 7 乗のクライテリアで判断していいんだと。
1:54:33	いうのは、これはきっちり書いておかなきゃいけないかなと思えますので、そこはどっかに書いてありましたけど、この資料上、
1:54:46	九州電力の寺崎です。資料上にはAそのものには明記はしておりませんができておりません。以上です。ですので妥当だということはどうかに書いてもらえますか。
1:54:57	おそらくちょっとこれは我々の中でもそうやって明記、明示的にこの 1 施設だけで確認しますという例はないと思っています。
1:55:07	離隔距離が離れてるから、確率評価には本体が含めませんとかですね。
1:55:14	申し上げたいのは、本当にこの落下確率評価というのはあくまでも、
1:55:19	申請単位に設置許可申請書の原子炉施設として評価、ただ、改善例えば自己完結確率の χ の燃費あってますけど、1 錠当たりの
1:55:33	確率で見たときに、10 のマイナス 7 乗以下で 1 以上であればいいよ以下であればいいよと言ってるのがこの
1:55:42	ガイドになりますんで。
1:55:45	どんな本体もそもそも見ずに、
1:55:49	中間貯蔵建屋だけでいいんだっていうところは、なかなかそういう切離しの場合にはこのガイドの中にはないんだと思ってます。
1:55:59	明記もしてないですし、作った時にそういう想定もしてないと思います。
1:56:06	ですので、ちょっとかなり新しい考え方が今回入ってきてるのかなと思ってるんですけども。
1:56:13	もしそうであればそこところをきちんと書いていただきたいという趣旨です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:27	でしょ。
1:56:31	九州電力の寺崎です。ご指摘、理解していただきました。持ち帰り検討させていただければと思います。以上です。
1:56:41	すいません。一応、
1:56:44	既設建屋と今回の乾式建屋の評価につきましては、標的面積はガイドに定めている 0.01 平方キロメートル、リッカーのA面積ですので、
1:57:01	ISLOCAでは 0.01 平方キロメートルで評価しておりますので、既設等合わせて評価となると、実際の建屋の面積を足して評価するということになるかと思えますけれども、実際それでやっても、7 条を
1:57:17	満足するっていうところはお示しできるとは考えておりますけれども、ちょっとそういう形で今回お示しするかっていうところはまた先ほども申し上げましたけれども、ちょっと一度検討させていただければと思います。以上です。
1:57:33	はい、施設のミキヤですけど。
1:57:36	標的面積全部足しても 0.01 超えなければ、0 保守的に 0.1 使ったときっていうのは昔からの考え方なので、通常それでやるんだろうなと思っていたんですけども、ちょっと大学さんとの関係で、
1:57:51	いや建屋新設建屋だけでやるんだっていうことであれば、ちょっとそこはまたその旨を
1:57:58	説明いただければと思います。
1:58:06	九州電力宮本でございます。ご許可の記載については検討してご説明させていただきます。以上です。
1:58:27	えっと、規制庁のミキヤですけども、ちょっと時間が押してるんですけども、この全体のパッケージとして他何か説明事項ってありますか。
1:58:41	九州電力宮本でございます。こちらの説明は以上でございます。
1:58:55	あ、すいません、規制庁ツカベですけど、1 点だけ、資料 1-1-1 の 20 ページ目で 30 条の関係で、
1:59:03	PointCTCの行員等、
1:59:07	についてなんですけど、
1:59:09	こちらそのコンクリートちょっと開口もあるみたいなんですけど、
1:59:14	この評価で 1Pとしているっていうは何ですか。
1:59:23	という質問です。
1:59:26	九州電力の私申し上げますもう一度ご質問の内容を確認させてください。お願いいたします。
1:59:34	資料 1-1 の 20 ページ目に 30 条の
1:59:38	説明がありまして、C点というのが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:43	1 階部分にあってですね、
1:59:47	確かにコンクリート前にあるんですけど、
1:59:50	開口している部分であって、
1:59:53	あって、ただ、後ろの評価を見ると、単純にコンクリートにつけて評価されているんですけど、ここ開口部、
2:00:03	どういう扱いで評価をされてるんでしょうか。
2:00:09	技術で幾らなんて思っています。こちらは地下 1 階っていくかいのところの取扱量のところなんですけれども、こちらはキャスクが最大に大体 2 基取り扱うものとしております。そして 1 階のこのⅢ. の左側ですかね。こちらが外からのキャスクの搬入行為になっております。
2:00:28	そっからもキャスクの影響も少しはそれからですね今回弊社の場合は地下構造になっておりますので、1 階部分から規定自体におろして、そこでキャスクを取り扱うこともございますので、そこからの直接線等の影響、
2:00:43	そちらを考慮して、この水位点の場所でキャスクに来を想定した再評価を行っているというものでございます。以上です。
2:00:52	はい、瀬戸ツカベです。
2:00:55	あの資料を見てわかったんですけどその試験の横にが開口していて、
2:01:02	結構ここからの線量、
2:01:05	マストのストリーミングとかですけど。
2:01:09	考えても、
2:01:11	保守的な評価になってるということでよろしいですか。
2:01:18	九州電力の松永でございます。そんなら 5L5 にした場合の C 点につきましては五つの保守的な評価となっております。以上です。
2:01:31	規制庁ツカベです。ちょっと時間もあれなので、はい。とりあえずわかりました。
2:01:44	23
2:02:01	規制庁のミキヤですけれども一応、今ご説明いただいた資料についてのコメント以上なんですけれども、
2:02:12	9 電さんの方から何かありますと、そのほか、
2:02:22	九州電力の長友でございます。今回のヒアリングに関しては特段九州電力からは確認事項ございません。
2:02:29	わかりました。それでは一旦ヒアリングはこれで終了にしたいと思います。
2:02:34	ありがとうございました。
2:02:38	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。